

さかわ町議会

Vol.93

発行 高知県佐川町議会

百年に一度の大雪による被害、
復興を目指すさかわのイチゴ！

- 一般会計12月補正予算 P2
- 12月定例会：一般質問に6人 ... P6
- 三十歳の集いでアンケート P12

今回の表紙：「JA高知県佐川支所苺部会」（紹介... P14）

令和4年度 一般会計 12月補正予算

令和4年度補正予算

(単位：円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	6,371万	98億9,307万
国民健康保険特別会計	36万	18億 597万
農業集落排水事業特別会計	22万	4,394万
介護保険特別会計	121万	18億6,239万
後期高齢者医療特別会計	9万	2億5,664万
水道事業会計	1,011万	4億5,599万
病院事業特別会計	4,000万	20億3,379万

**12月
補正予算
ピックアップ**

障害者自立支援事業

1286万円

生活介護 共同生活援助、
就労継続支援等のサービス利
用の増加に伴う補正。



**出産・子育て応援
交付金事業**

755万円

国の2次補正による子育て
世帯への経済支援策。妊娠届時
と出産届時に5万円ずつ交付。



産み育てやすい環境を

**園芸団地整備特別
対策事業**

620万円

既就農者(ニラ)に対する中
古ハウス修繕整備への補助金。



斗賀野地区のニラハウス

**予防接種(新型コロナウイルス
ワクチン)事業**

1206万円

オミクロン株対応ワクチン
接種実施にかかる経費及び交
通費助成に伴う補正。

**がけくずれ住家防災
対策事業**

1600万円

住宅裏法面崩壊の危険性が
ある住宅へ早急に対策工事を
実施するための増額補正。



裏山のがけくずれ対策

議案質疑

議案第79号 佐川町病院事業 特別会計補正予算

橋元議員 収入の医業外収益7千81万5千円と、支出の医業費用4千万円について具体的な説明を求め。

宮本病院事務局長 収入の主なものは新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業費補助金である。新型コロナウイルス患者を受け入れたことで、重点医療機関とみなされ、その間、他の患者の受け入れができなくなったことで空床の分の費用が支援される。
支出では、第8波に向けて、検査等に必要な医薬品費、材料費を計上している。

議案第88号 水道事業の設置等 に関する条例改正

橋元議員 人口が減ってきているのに使用料や給水量が増えている。給水人口や給水量の設定の概要について説明を求め。

藤本建設課長 現行は、H28年の認可変更で、簡易水道の尾川と黒岩が上水道事業に統合し、佐川と合わせた3地区で合算した計画給水人口が1万3千864人、計画1日最大給水量が6千733m³で認可を受けた。

今回の改正は、計画給水人口は、H20年度からR2の人口減少傾向、さらにR3年度からR12年度の人口推計で最大値を推計して算出した。
また計画1日最大給水量は、一般家庭等での1人1日平均使用水量258リットル、事業用等で1日1千40リットルを見込んで算出した。

発議第2号 「学校部活動の 地域移行」に関 する意見書

岡村議員 意見書にある「教職員の負担軽減を進めるためにも、部活動を含むすべての業務を勤務時間内に納める」とあるが、佐川町の下校の時間は4時半と思うが、勤務時間はどうなっているのか。
濱田教育長 下校の時間は学校により異なるが、4時半頃になっている。勤務時間は、町内は4時45分で終了する。



意見書

国・県にももの申す

総理大臣をはじめ、関係機関に意見書を提出

「学校部活動の地域移行」に関する意見書

(提出者 坂本玲子)

子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書

(提出者

産業厚生常任委員長

下川芳樹)

国は2023年4月に「こども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進をめざし、予算も倍増するとしている。いまこそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇の改善を国の責任で進めるべきである。

特別委員会設置

「議員定数及び議員報酬に関する調査特別委員会」の設置について

(提出者 議会運営委員長 坂本 玲子)

提案理由

議会には、町民の声を十分に町政に反映し、二元代表制の下で政策立案、議決及び行政に対する監視機能を果たすなどの重要な役割があります。
佐川町議会においては、時代にふさわしい議会及び議員の活動の活性化と充実のための、議会改革に取り組んでいるところです。

今回提案する調査特別委員会は、議会としての本来の役割を果たすための適正な議員定数と、若い世代が議会に参加できる環境づくりの一つとして議員報酬について、調査研究を行うため設置するものです。

議員各位の意思表明

賛否表（令和4年12月定例会）

○：賛成

●：反対

-：議長

欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
令和4年度佐川町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町病院事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員の給与及び報酬並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
「議員定数及び議員報酬に関する調査特別委員会」の設置について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
「学校部活動の地域移行」に関する意見書	○	○	●	○	○	○	-	○	○	○	●	●	●	●

令和4年 第4回臨時会

第4回臨時会は、10月24日に開催され議案2件を審議し、全件を賛成全員で可決しました。

令和4年度佐川町一般会計補正予算（第5号）においては、JR加茂駅トイレ改修工事、集落活動センターたいこ岩増築工事、新型コロナウイルス感染拡大対策、プレミアム付商品券委託料、住民税非課税世帯等臨時特別給付金《価格高騰により家計への影響が特に大きい低所得者世帯に対し1世帯あたり5万円を給付するもの》など、あわせて1億5,252万4千円が増額補正されました。

工事請負契約の変更契約の締結

「まきのさんの道の駅・佐川」建設工事

既決契約金額 806,300,000 円

変更後契約金額 875,303,000 円

変更増加額 69,003,000 円



道の駅に併設される、木のおもちゃ美術館部分の整備にあたって、必要な工事や設備にかかる変更となっています。

議員各位の意思表明

賛否表（令和4年第4回臨時会：10月24日）

○：賛成

●：反対

-：議長

欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知憲	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
令和4年度佐川町一般会計補正予算（第5号）	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の変更契約の締結について	○	欠	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○

高吾北広域議会

11月29日、広域議会が開催されました。付議事件は報告1件、議案が10件でした。報告は老人ホーム五葉荘の火災報知器75個やエアコン3台の移設費55万円の専決処分でした。また人事院勧告による職員の給料改正や補正予算などの議案は、いずれも賛成全員で可決されました。

また小田組合長（越知町長）の諸般の主な報告は特養4施設（特老）での高齢者減少や入所者の重度化、また介護と医療の連携した在宅介護の選択などの要因により、令和3年度の決算は7千280万円の赤字決算となったこと。職員採用は調理員など各職種合計で7名採用したとのことでした。



質疑応答

問 藤原議員（日高村）
加茂展などの催事に中
学体育館へパネル等を搬入するにはJRの線路側から直進し、今度はス
イツチバックで上がって
来なければならぬ。こ
れを直線的に進入でき
るように改良できないか。
岩本教育長 JR側の道
については半分がJRの
土地で、直線的に改良す
るのは難しい。

日高村佐川町 学校組合議会

12月16日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。議案は一般職の職員の給与に関する条例の一部改正と会計年度任用職員の給与・費用弁償に関する条例の一部改正の2件でしたが、全員賛成で可決されました。



全国議長大会

11月9日、東京のNHKホールにおいて第66回町村議会議長全国大会が開催され、全国926町村の議長と供に出席しました。会には新潟県湯沢町議会議長である南雲会長のあいさつに続き、内閣総務大臣や衆参両院議長

の他、たくさんの方の国会議員の紹介がありました。議事では経済対策の強化や地方財源の確保充実、議員の公務災害補償制度の整備、大規模災害対策の確立などの要望の他、農林商工振興対策の強化、地域保健医療の向上、少子化対策、教育・文化の振興などの決議が満場一致で採択されました。



東京都NHKホールでの様子



松浦 隆起 議員

問 警戒レベル3 ・高齢者等避難 食料品の準備

答 備蓄品で対応

問 台風の時などにおいて、警戒レベル3・高齢者等避難の発令時に、避難所において食料品や飲料の提供ができないか。

警戒レベル3・高齢者等避難は自主避難ではなく、開設者が食料品等を準備しておく必要がある。地域防災計画に沿った、避難所運営をするべきだ。



備蓄品

片岡総務課長 避難レベル3はレベル4の避難指示が出る前段として高齢者の方は避難を始めてくださいというレベルで自主避難ではない。急に避難しなくてはいけなくて、準備ができない場合は、備蓄品で対応させていただきますようにしたい。

問 出産子育て応援給付金 20万円の給付を

答 新年度以降も継続的に行う

問 国が実施する出産子育て応援給付金は、妊娠届時に5万円、出産届時に5万円の経済的支援を行うものだ。この給付金に現在、本町で行っている新生児特別定額給付金10万円を組み合わせ、妊娠届時に10万円、出産届時に10万円、合わせて20万円の給付として行うことができるか。

を示すために、国の応援給付金と町独自の特別定額給付金と合わせて、妊娠出産時に20万円相当の経済的支援を、新年度以降も継続的に行っていくたい。
給付方法については、国の制度設計、出産準備にかかる出費のタイミングを踏まえ、検討していきたい。

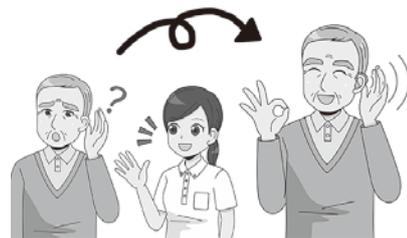


田村副町長 この機会をとらえて、町内外に「子育てしやすいまち」これ

問 補聴器購入補助制度 始めるべきだ

答 前向きに検討したい

問 高齢社会が進む中で、加齢による難聴者が増えてきている。ただ、補聴器が高価なため、購入をためらったり、経済的な面でつけない人がいる事実もある。
認知症やうつ病の予防策として、また、高齢者の方への経済的支援として、補聴器購入への補助制度を始めていくべきだ。



片岡町長 本町において、加齢に伴って耳が聞こえなくなった場合の、補聴器購入に係る助成制度はなく、検討したこともなかった。
高齢化が進む中、引きこもりといったことのないまちにしていきたい。
ぜひ、前向きに検討していきたい。



坂本 玲子 議員

問 遊学館・児童館はせっかく施設があるのに、役割を果たせていない利用しにくい施設になっている。設置の目的が達成されるよう、事業展開をどうすればいいか検討が必要だ。

問 遊学館・児童館を利用しやすく

答 早急に改善していく



利用しやすい施設へ

職員の時差出勤や鍵の明け方の工夫をし、夜間休日も使用できるように、また学童の時間帯について、その存在意義の有無も含め検討し、適正な時間帯に修正すべきだ。

廣田教育次長 利用者の利便性の向上を図るため、早急に改善していく。

問 特別障害者手当について周知の徹底を

答 周知方法を検討する

問 特別障害者手当は月額2万7千300円で、障害者手帳を持っていないことも受給できる制度だ。在宅の方はもちろん、グループホームや有料老人ホームに入所されている方も対象となる。

佐川町にはこの制度の対象となる可能性がある要介護4-5の方が100名以上いる。

しかし、制度について知らない人が多く、制度

の利用が進んでいない。窓口で丁寧に知らせると共に、ホームページでも分かりやすく記載する必要があると思うがどうか。

田村副町長 申請窓口でも支給要件に該当する方に届くようにしていく。周知方法を検討しホームページ等にも分かりやすく掲載する。

問 耐震工事の補助金が130万円になり工事件数が伸びている。自己負担を減らすことが工事件数を増やす最も効果的な施策だ。工事補助金増やリフォーム補助復活をしてはどうか。

耐震診断をしても工事までしなかった人がいる。その方たちに補助金が増えて工事をしやすくなったことを個別に知らせてはどうか。

工事補助金増また工事はどうか。

問 耐震工事の申し込み通年にしてはどうか

答 年間を通して進められるようにしていく

申し込みの締め切りを決めず通年にしてはどうか。



耐震工事通年化を

藤本建設課長 今は工事補助金増やリフォーム補助の復活は考えていない。しかし、みなさんの声に耳を傾け臨機に対応していく。

今まで耐震診断・設計をして工事を諦めていた方には個別に訪問をしていく。

耐震工事が年間を通して進められるよう事務の見直しを行う。

その他の質問
・自伐型林業について

精神または知的、身体に著しく重度の障害
 20歳以上の方
 月額27,300円

特別障害者手当
障害年金との併給が可能



橋元 陽一 議員

問 道の駅南側の広場の構想は

答 自然を体験できる広場に



芝生広場イメージ図

変化を感じ、子どもたちも植生の変化を学ぶエリアとなり、来てよかったと声が広がる景観になるよう要望pon。

下八川産業振興課長 子どもたちが自由に走り回れる芝生広場、ビオトープ整備で自然を体験できる広場になる。

問 木のおもちゃ美術館の建設と併せて道の駅の工事が進んでいる。南側に隣接される広場の構想は具体的にどんなものか。30年、50年後に霧生関が広葉樹で覆われ四季の

周囲の山は民有林であり、現段階では予定はない。将来的には、所有者の承諾を得て、将来価値のある山づくりをめざした整備をすることが可能ではないかと考えている。

問 木造耐震化事業 どう進めているか

答 1件でも多い耐震に取り組む

問 7カ年計画で進められている第2期耐震改修促進計画で、申請から耐震工事までいかず断念したケースはどの位か。またその理由をどう把握しているか。

個人負担の軽減を行った今年度の事業の申請件数は。住宅耐震化緊急促進プログラムプログラムの構想と検討課題は。

藤本建設課長 令和3年度末で、診断を受けた方が464名、工事を行った方が244名(52.6%)。



1件でも多く耐震化を

行っていない方が220名(47.4%)。工事を実施しなかった理由は、工事費の自己負担が困難など想定されるが、現在把握できていない。今後、戸別訪問で把握していく。

今年度の事業は11月25日現在で、診断件数78件、設計65件、工事57件である。

アクションプログラムでは関係団体と連携し、1件でも多い耐震をして戴くために、これまで耐震診断、設計をされた方への戸別訪問などで、耐震工事推進に取り組む。

問 想定最大規模の降雨で 加茂地区の浸水はどの位か

答 1000年に一度の降雨で
5～10mの浸水

片岡総務課長 想定最大規模の降雨は、仁淀川流域で48時間降雨量904mmが想定され、5～10m浸水。これは1000年に一度程度の降雨だ。

山本町民課長 確認書にある「子どもや若者たちが将来にわたって安心して、誇りをもって暮らし続けられる環境」の実現に、100%ではないが、大きく近づくと考える。



進む治水工事

問 国土強靱化地域計画で提示された、仁淀川水系の想定最大規模の降雨で、加茂地区はどの位浸水するの。こうした課題を持つ地域への振興策費として決めた10年間で最大15億円は振興費はお粗末すぎるのではないか。確認書に照らして町としてどんな見解を持つべきなのか。

その他の質問
・新型「コロナウィルス対策」について
・新文化拠点構想について



齋藤 光 議員

問 自伐型林業 今後の方針は？

答 今後も取り組んでいく

【問】 佐川町の自伐型林業は総合計画の中では10年間の計画となっていて、山林の集約化において山主さんと20年間の契約を結んでいる。



持続可能な町有林整備を

今後も継続的に林業の推進をしていくべきだと考えるが、佐川町として自伐型林業を今後どうしていくのか？

また全国でも先進的な取り組みである、山林の集約化なども行なっているが、人手不足ではないか？

森林整備のゾーニングを始めているとの事だが、ゾーニングはどういったものか？

【答】 下八川産業振興課長 自伐型林業については当初、総合計画の中で地域おこし協力隊を10年採用

するとという位置付けで実施してきた。

令和元年度に開催した「持続可能な林業シンポジウム」においても、先人から受け継いだ山をより良くして次の世代に渡すことを佐川町の森林整備の方針として説明させていただいており、このまま取り組みを進めている。

管理契約地や施業委託が増えることにより、業務量は増えており、地域林政アドバイザー制度を活用した増員を検討している。

ゾーニングに関しては

令和4年度から始めており、山に緩やかな道で搬出間伐が出来るのに適したエリアを地図上に落としていく。その上で、岩石がある山や、崩壊地帯等で木材を搬出することが困難な山なども地図上に落とした上で整備を進めていきたいと考えている。

問 今後の体験博事業 どうなる？

答 事業継続で協議を進めている

【問】 仁淀ブルー体験博は、地域のストーリーや文化、ライフスタイルなどを発信できる仕組みで、体験を通して地域のファンを増やしていくことが可能だ。

この仁淀ブルー体験博は6市町村合同で、仁淀川流域全体の観光を盛り上げていく事に意義がある。大きい規模になれば情報発信力も高まり、メリットがある。

この仁淀ブルー体験博だが、今までの実績は？ 今後も長期的目線で、継続していくべきだと考えるが、来年度以降の計画はどうか？

【答】 岡田まちづくり推進課長 この仁淀ブルー体験博は仁淀川流域を周遊する観光資源としての期待ができる。

実績としては令和3年が一回目の開催で、コロナ禍ではあるが全体で509名の定員に対して422名の方に参加していただいた。地域資源発掘の面

もまだまだ始まったばかりなので、来年度以降についても、引き続き事業を継続していく方向で協議の方が進められている。



人気の体験プログラム (苔テラリウム)

その他の質問
・五位山イルミネーションについて
・地域おこし協力隊の採用について

問 協力隊の雇用継続と人材育成を

答 今後とも支援・継続していきたい



下川 芳樹 議員

問 町が行う自伐型林業の取り組みについては、これまでの議会で7回質問をした。

地域おこし協力隊の雇用は、単に森林からの収益目的だけではなく、町内全体の森林がもつ多面的な機能を発揮させることで得られる、多くのメリットを生かすことが大切だ。地域おこし協力隊の雇用継続と人材育成を、積極的に果たしていくことが最良の策だと考えるがどうか。



今後の活躍にも期待

片岡町長 林業の担い手や森林整備に取り組むことは、必要だと考えている。

来年度は募集しないが、今後とも地域おこし協力隊の募集や既存の林家、団体への支援を継続して検討していきたい。

問 ヘリポート適地の確認は

答 最優先で取り組む

問 先の9月議会で、加茂地区全体でヘリポートの条件に見合う候補地10カ所を選定している。可能な限り早期に適地を決定して整備を図りたいとの答えを得た。

問 今回適地を13カ所として、11月29日に確認作業を行い適地として現在1カ所が残っているとのことだが、なぜ、今まで適地の確認ができていなかったのか。

片岡町長 切土による整備で適地となる3カ所を、追加で調査するため1カ月の期間を要した。その後、速やかに調査すべきであったと反省している。

問 今後はスピード感を持った対応をして、1日も早くヘリポート場所を決めたい、最優先で取り組む。



加茂地区ヘリポートの早期整備を

問 JRとの協働で駅の景観整備を

答 加茂駅の自転車置き場協議

問 JRとの協働で観光振興を進めるため、町の玄関口となる駅の景観を整備するべきだ。特に加茂駅では駐輪場の設置がなく、乱雑に20台近くの自転車止められている。駅利用者の利便性を図ると同時に観光客の見てもより良いものとするため、駅周辺の環境整備を行ってほしい。



JR 加茂駅

岡田まちづくり推進課長 佐川、斗賀野、西佐川駅は町として活用している。加茂駅についてはトイレの改修準備を進めている。

JRとは町との連携で協議しており、加茂駅の自転車置き場を明確にする取り組みができないか協議した。JRとはこれから協議し、進めていく。



田村 幸生 議員

問 佐川地区でヘリ要請を行う霧生関の離着陸場運用開始からの要請件数はドクターヘリが平成29年7件・平成30年8件・平成31年12件・令和2年6件・令和3年5件。

問 佐川地区緊急用ヘリコプター離着陸場の整備を

答 加茂地区限定となれば候補地を探し整備する



急がれるヘリポート整備

廃止後の令和4年は、佐川サッカー場7件・佐川場外4件となっている。常時運用できる離着陸場整備の考え方を問う。
片岡町長 現在、加茂地区に代替ヘリポートの候補地を選定した。その場所が整備可能となれば、霧生関同様の役割が可能かどうか、位置関係を確認し、加茂地区限定と判断されれば、佐川地区の候補地を探し整備する。

問 ぐるぐるバスは、富士見町から西の方面（川内ヶ谷上下・九反田・立野・柳瀬）には通っていない。ぐるぐるバスの西方面へ延伸運行を問う。

問 ぐるぐるバス西方面へ延伸を

答 現状に即した計画へ柔軟に対応



柔軟な対応が求められる

岡田まちづくり推進課長 川内ヶ谷上下・九反田・柳瀬方面へは、既存の路線バスが運行されていることや、運行前の意向調査で利用の意向がないとの記録に基づいている。県が実施した集落実態調査では、町民の約3割の方が、5年〜10年で自家用車を使用できなくなる不安がある。
来年度以降の地域公共交通計画が、現状に即した計画となるようにアンケート調査や意見交換会などでの意見を参考にし、柔軟に対応する。

問 耕作放棄地対策の現状と今後の対策

答 協定エリア拡大・新たな地域の取り組みを支援

吉野農業委員会事務局長 毎年所有者に農地を貸す意思確認をしており、今後農地情報を提供することで貸し手と引き受け手のマッチングを行い耕作放棄地の発生防止と、解消再生に努める。

問 農家の高齢化や後継者不足により、畑が長期間放置された耕作放棄地が深刻になっている。解決のため取り組みられていることや今後進める対策を問う。



早急な対策を

下八川産業振興課長 耕作放棄地を増やさないため、集落営農組織の支援に加え、中山間地域直接支払制度や多面的機能支払交付金の事業を実施している。
多面的機能支払交付金は、地域資源保全をする共同活動への補助金で、耕作放棄地対策に有効と考える。
今後は協定エリアの拡大・新たな地域の取り組みを支援して行く。
耕作放棄地抑制につながる圃場整備を市ノ瀬馬の原、立野、柳瀬のエリアで事業採択に向け、地元と協力し進めている。



集いにてアンケートを実施しました。

Q. 2 佐川町議会議員の定数が何人か知っていますか？

「知っている」と答えた方はなんと0人でした。そこで、皆さんに予想をしてもらおうと、7人～80人と幅広い答えが返ってきました。



Q. 3 将来何処で暮らしたいですか？

町内、県内という答えは女性の方が多かったです。「県内に残りたいが仕事が無いので、県外へ出る」という意見もありました。

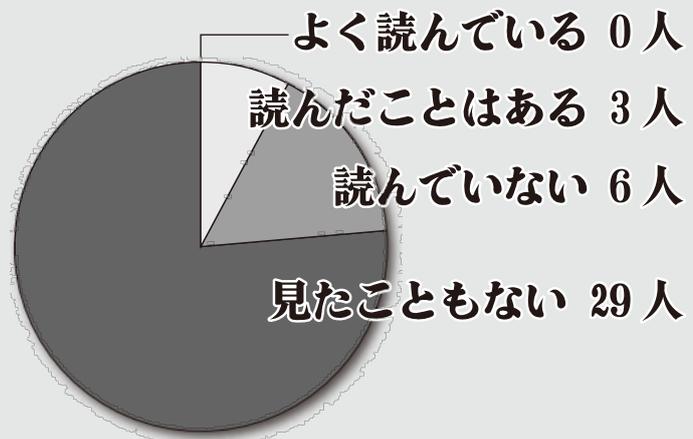


昨年の4月1日施行の民法改正により、成年年齢が20歳から18歳に変わった事から、佐川町では名称を成人式から「二十歳の集い」に改め、従来通り20歳になられる方を対象とした会が1月8日に行われました。

議会広報編集委員会は若い世代の政治に関する意識調査として、今回の「二十歳の集い」の会場に集まっていた20歳の方々にアンケートを行いましたので、結果をお伝えします。

令和5年佐川町二十歳の

Q. 1 佐川町議会だよりを 読んだことがありますか？



今回のアンケート結果は大変厳しい結果となりました。手に取って、読んでもらえる議会広報を意識して、若い世代にも興味を持ってもらえる内容の必要性を再確認しました。

現在、佐川町には14人の町議会議員が在籍していますが、アンケートへの回答としては「50人？80人くらい居る？」との声もありました。今年行われる予定の議会懇談会には、若い世代にも声をかけて参加していただけるような取り組みが必要だと感じました。

「将来佐川町で暮らしたい」と回答した二十歳の皆さんが想定より多く、「仕事で県外に出るけれど将来的には佐川町に帰ってきたい」という声もありました。

放課後片思い系妄想発明家 たいが一・りーさんの二十歳の皆さんへのエールも込めた講演

町外町有地など視察 総務文教委員会

【町外の町有林】

令和4年5月17日、佐川町外に保有する山林と町内の町有財産の視察を総務文教委員会の所管で行った。

今回の視察は、佐川町議会に新人議員が入ったこと、年月の経過で現状を知る人材が少なくなつたことを踏まえて再確認する機会として、行政職員と共に視察を実施することにした。

山林は越知町、仁淀川町にそれぞれに保有している。保有に至つた経緯は、佐川町合併時に旧黒岩村、旧斗賀野村が保有していた山林を佐川町が保有する土地となつた。しかし取得の経緯について、記録では詳細な内容を確認できていない。

現在、仁淀川町に保有する一部の山林は、仁淀川森林組合と協定を結んで管理されている。



町有林を図面で確認していく

その他の山林は長年手がついておらず、活用できていない。

一部の山林では植林された木が、充分木材になる水準になっていないが、搬出道がなく搬出が難しい。そのため新しく作業道を作るにしても、近接する地権者との交渉も複雑で、整備する手立ても進んでいない状況である。

【町営住宅】

同日、移住促進事業の一環で行われてきた耐震改修工事を終えた町営住宅（旧四国電力佐川社宅）を、住人の方が住む前に見学が出来るということで見学した。

家族用の2階建ての住宅は、日当たりのよい環境に位置し、子ども部屋も確保できる部屋数があり、入居希望者が出てくると期待している。



【今月の表紙紹介】

令和4年12月22日～24日明け方にかけて降つた記録的な積雪により、甚大な被害が発生しました。特に佐川町の主産業である一次産業への影響が甚大で、積雪50～70cmの雪の重みで農業用ハウスが損壊するなどの被害が次々と明らかになりました。

佐川町イチゴ部会の場合、出荷が始まった矢先で、収穫の最盛期にさしかかったところでした。ビニールハウスの基礎鉄骨部分は雪の重みで歪み、ハウスに入る事すら危険な状況になりました。

当然作物も、ビニールハウスの損傷により、窓の開け閉めによる温度管理が出来ず、甘みと酸味のバランスのとれたイチゴの栽培が出来なくなっています。

今回の雪害の影響でイチゴの出荷ができなくなり、出荷額は例年の10分の1程度に落ち込むとのことです。

ハウスの復旧には2年ほどかかるうえ、損壊したハウスの解体・処理費用や新たなハウスの建設費用、見込んでいた今季の収入が無くなる等で実質的な被害状況は非常に深刻な状態におかれています。

佐川町としても、早急な支援策の検討が求められています。



あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ



問

学校給食費の無償化を
(令和2年12月～4年3月定例会)

保育の給食材料費無料化を
(松浦・坂本)
いつから実施するのか(坂本・齋藤)
食育も一緒に (下川)
教育予算を減らすな (岡林)

町長・教育長
答弁

検討する

子育てしやすい町にしていく
来年度(R4)から実施していく
教育予算は減らさない

令和4年4月から無償化実施

令和4年3月定例会当初予算
【5,093万円】
地産地消、安心安全な給食を提供する
食育で生きる喜びにつなげる

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月3日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴席に入場
いただける人数を制限する場合があります。



議会広報編集委員会

委員長	田村 幸生
副委員長	齋藤 光
委員	橋元 陽一
委員	山本 和輝
委員	岡林 哲司

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

最初に、昨年の12月22日から24日にかけての豪雪より被害に遭われました皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

住民の皆さまに議会の活動をきちんとお伝えするのはもちろんのこと、手に取って読みやすく分かりやすい議会広報紙をめざして住民の方々にも登場いただく紙面を増やすなど試行錯誤しながら委員全員で取り組んでいます。

今後も、紙面作りやデザインの改善に取り組み、議会だよりを通して、より議会を身近に感じ、関心を持って頂きたいと思っています。

田村 幸生

編集後記



代表の吉村さん

今年春に放映予定のNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」に沸く佐川町ですが、牧野富太郎博士が幼少期に歩いたとされる道を復旧した「さとやま遊友会」代表の吉村典宏さんに取材しました。

「さとやま遊友会」とは、ゆづりゆづりか

佐川町の地形は日本全国でも、類を見ないほど

さとやま遊友会

「牧野博士の聖地巡りコースを整備しています」

複雑な地層で構成されています。

それゆえに良くも悪くも、様々な自然現象が体験できる佐川町ですが、自然を感じる事が出来る環境が無くなってきているのが現状です。

そのため自然を感じられる環境整備を微力ながら手助けしようと2022年8月に「さとやま遊友会」は立ち上がりました。



「どんな活動をしていますか？」

初めての取り組みとして、西谷・岡崎、室原・鳥ノ巣ルートと呼ばれる牧野博士が少年期に駆け



回った山道の整備・復旧を行いました。現在会員は58名。

「整備活動で苦労したことはありますか？」

整備作業では、石垣や橋の材料を現場まで人力で持って上がるのが大変でした。

草刈りなども、間違えて希少な植物を刈ってしまったてはいけませんので、専門家の知識をお借りしながら作業を進めました。

老朽化した危険な木橋も会員みんなで復旧しました。



朽ちた木橋もキレイに復旧！

「今後はどんな取組みを考えていますか？」

現状は整備計画通り進んでいて、3月末までにはルートの整備・復旧は終わらせる予定です。

看板やルートマップなども作成しています。

来年度以降は予算の関係もありますが、整備したルートの充実化に加えて、佐川に残る城址をめぐる観光資源の再発掘に

も力を入れていきたい。同時に観光案内・ガイドができる人材育成も進めていきます。

「周りに伝えたいことはありますか？」

個人的には、過去に佐川町で偉人がたくさん出てきたのは、佐川町独特である複雑な地層が織りなす自然環境が影響しているのでは？と思っています。

多くの偉人を輩出した佐川町。ぜひ、歩きなが

ら地層や地形、植物と人との関わり、そして仕組みを肌で感じて欲しいです。



会話をしながら歩くのも楽しみ！



道整備は、ルートマップ作りと併せ、1月～3月まで続きます。

あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている「組織やグループ」をぜひ紹介下さい。